# 裸族のお立ち台DJ クローンプラス

## CROS2EU2CP
## 取扱説明書

# 【はじめに】

このたびはCROS2EU2CPをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本説明書を必ずお読みください。

# 【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。 |
| ⚠注意 | この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。 |

## ⚠警告

**■煙が出る、異臭がする、異音がでる**
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**■機器の分解、改造をしない**
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**■機器の内部に異物や水を入れない**
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

**■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない**
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

**■不安定な場所に機器を置かない**
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

**■電源の指定許容範囲を守る**
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

**■電源コード、接続コードの取扱いについて**
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

**■雷が鳴り出したら電源コードに触れない**
感電したり火災の原因となります。

**■ぬれた手で機器に触れない**
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

## ⚠注意

**■設置場所に関しての注意事項**
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
・火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
・直射日光のあたるところ

**■長期間使用しない場合は接続コードを外してください**
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

**■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください**
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

**■小さいお子様を近づけない**
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

**■静電気にご注意ください**
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

# ■もくじ

## 【制限事項】

・本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
・本製品は2.5/3.5インチシリアルATA HDD/SSD専用です。パラレルATA（IDE）は使用できません。

## 【ご使用の前に】

・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
・Mac は Apple Inc. の登録商標です。
・記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

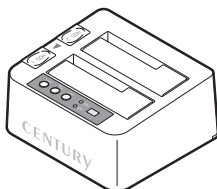
本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。
本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることになりますので、感電等の事故、およびSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。
また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

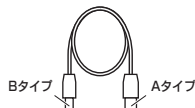
## 【製品仕様】

■型　　　　　　番：CROS2EU2CP
■商　　品　　名：裸族のお立ち台DJクローンプラス
■インターフェイス
　　　・デバイス側：SATA Ⅰ/Ⅱ/1.5Gbps/3.0Gbps
　　　・ホ ス ト 側：【USB】USB 2.0 【eSATA】SATA Ⅱ 3.0Gbps
■USBコネクタ形状：レセプタクルBタイプ
■寸　　　　　　法：幅143mm×高さ70mm×奥行132mm（突起部含まず）
■重　　　　　　量：約 544g（ドライブ含まず）
■温　度　・　湿　度：温度5～35℃・湿度20～80%
　　（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
■ACアダプター仕様：［入力］AC100V～240V 50/60Hz　［出力］DC12V 4A

※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

## 【製品内容】

□CROS2EU2CP 本体
□専用eSATAケーブル
□専用USB2.0ケーブル
□専用ACアダプター
□専用ACケーブル
□取扱説明書/保証書（本書）

CROS2EU2CP 本体

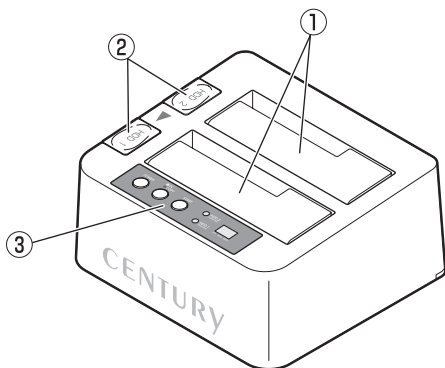
専用eSATAケーブル

専用USB2.0ケーブル

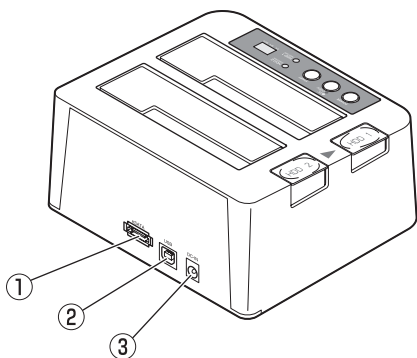
専用ACアダプター

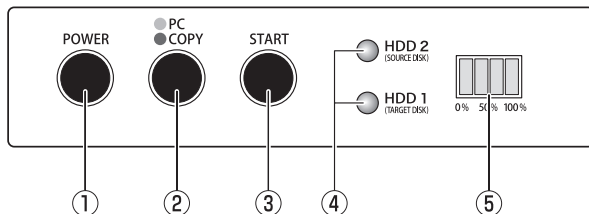
専用ACケーブル

取扱説明書/保証書

# 【各部の名称】

## 〈前面〉

① HDD/SSD差し込み口
② ドライブ取り出し補助ボタン
③ 操作パネル
→P.4 操作パネル詳細

## 〈背面〉

① eSATAコネクタ
② USB2.0コネクタ
③ 電源コネクタ

## 〈操作パネル詳細〉

①**電源ボタン**：本製品の電源をON/OFFするためのボタンです。
電源ON時、ボタンが青色に点灯します。

②**PCモード/コピーモード切り替えボタン**：PCモードとコピーモードを切り替える時に使用します。
・PCモード（青色点灯時）：本製品をPCと接続して使用する際のモードです。
電源ON時は必ずPCモードになります。
→P.11【PCとの接続方法】
・コピーモード（赤色点灯時）：本製品のディスクコピー機能を使用する際のモードです。
電源をONにした後、このボタンを約3秒長押しすると、LEDが青色から赤色に切り替わり、ディスクコピー機能が使用可能になります。
→P.29【ディスクコピー機能】
※コピーモード時は本製品をPCに接続しても認識されません。

③**コピースタートボタン**：ディスクコピーモード時、コピーを開始する際に使用します。

④**HDD/SSDアクセスLED**：HDD/SSD認識時、青色に点灯します。
HDD/SSDアクセス時、ピンク色に点滅します。

⑤**コピー進行インジケーターLED**：ディスクコピーモード時、25%単位でコピーの進行状況を示します。
また、PCモード時はディスクアクセス時、LEDが左右に動きます。

## 【対応HDD/SSD】

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB2.0またはeSATA（3Gbps）のため、転送速度はそれぞれのインターフェイスの上限速度となります。

### <HDD>

■2.5インチまたは3.5インチのSATA HDD （SATA I / II / 3.0 /1.5Gbps /3.0Gbps /6Gbps）

※本製品はSATA専用です。PATA（IDE）HDDは接続できません。
※4TBまでのHDDで動作確認を行っております（2012年11月現在）。
対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。
※Windows XPではOSの制限により、2TBより大きいサイズのHDDを扱うことができません。
※SAS（Serial Atached SCSI）HDDは使用できません。
※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

### <SSD>

■MLCタイプの2.5インチSATA SSD （SATA I / II / 3.0 /1.5Gbps /3.0Gbps /6Gbps）

※1.8インチ、ZIFコネクタ、3.3V駆動および特殊形状（ASUS Eee PCの内蔵SSD等）のSSDは接続できません。
またSLCタイプのSSDにつきましては動作保証対象外とさせていただきます。
※5V駆動のものに限ります。

## 【対応機種】

### ■eSATA接続

・ポートマルチプライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機またはMac

### ■USB接続

－Windows－

・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）
・USB1.1インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB1.1モード動作時）
・CPUクロック2GHz/メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨
※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

－Mac－

・USB2.0インターフェイスポートを搭載したMacPro、iMac、MacBook、MacBookPro

※PowerPC搭載のMacintoshは動作保証外になります。

#【対応OS】

## ■Windows

・Windows 8（32bit/64bit）
・Windows 7（32bit/64bit）
・Windows Vista（32bit/64bit）
・Windows XP（32bit）

※Windows 95／Windows 98／Windows 98SE／Windows 3.x／Windows NT／Windows Me／Windows 2000では動作しません。
※WindowsUpdateでOSを最新の状態（Service Pack含む）にしてご使用ください。
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

## ■Mac

・Mac OS 10.8、10.7.4、10.6.8、10.5.8（2012年11月現在）

**※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。**

**本製品からのOS起動に関して**

本製品はeSATA接続に限りOS起動が可能です。起動方法等に関しては、eSATAホストカードの取扱説明書をご確認ください。また、USB接続でのOS起動はできません。

**SATA HDD/SSDの取り扱いについて**

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。
SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

**裸族坊やセンちゃんからのお願い**

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、むき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。
しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。
特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。
また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

# 【HDD/SSDの取り付け方法】

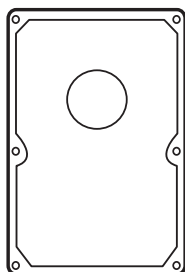
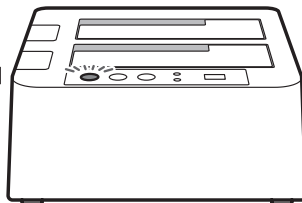
## ■HDD/SSD接続の前に

・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

> **※注意**
> 既にデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

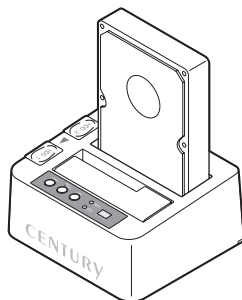
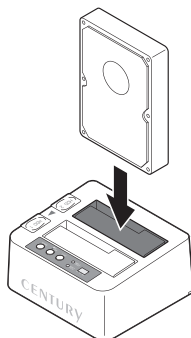
## ⚠警告

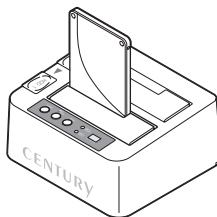
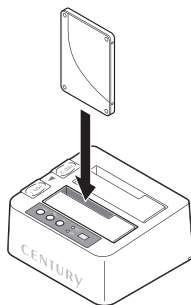
## ■接続および電源投入の順序にご注意ください！！

・本製品はまずHDD/SSDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
・本製品のみの接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性がございます。

※本製品はシリアルATA（SATA）HDD/SSD専用です。パラレルATA（PATA）は接続できません。

## ■3.5" HDDの取り付け方法

HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROS2EU2CP」のHDD/SSD差し込み口にゆっくり差し込みます。

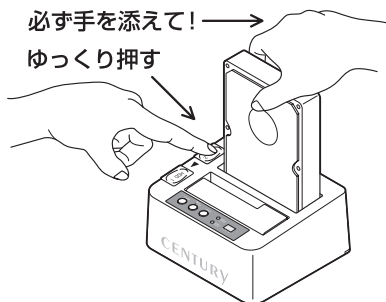
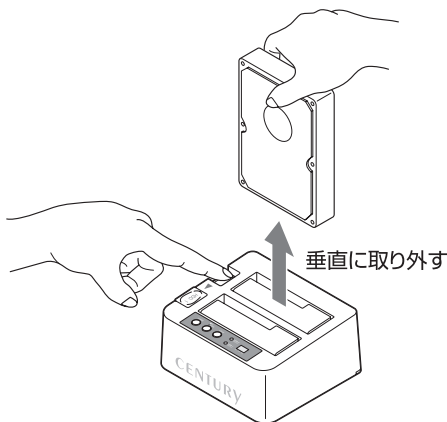
〈完成図〉

## ■2.5" HDD/SSDの取り付け方法

HDD/SSDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROS2EU2CP」のHDD/SSD差し込み口にゆっくり差し込みます。

**■注意！**

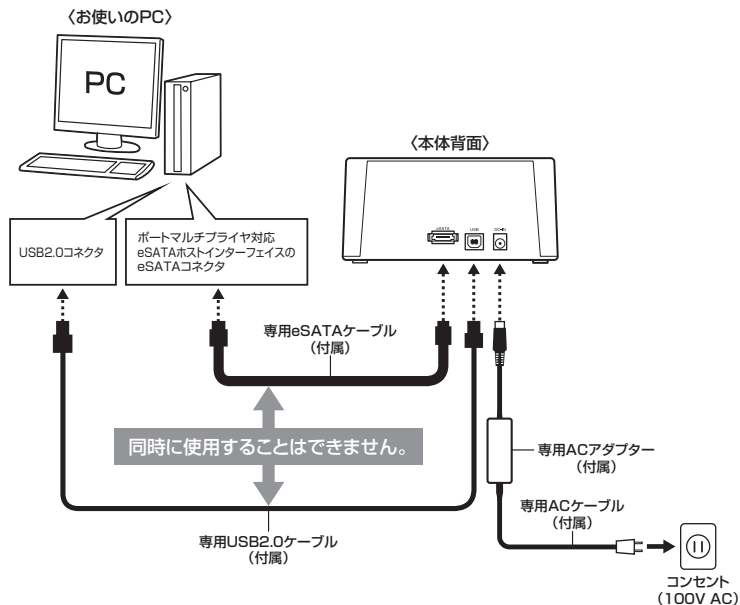
HDD/SSDを取り付ける際には、必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り付けを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

# 【HDD/SSDの取り外し方法】

※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応しておりません。
HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

**1.** HDD（またはSSD）に手を添えながら、ドライブ取り出し補助ボタンをゆっくり押します。

**2.** ドライブ補助ボタンを押すとHDD（またはSSD）がせり出してきますので、ゆっくり垂直にHDDを取り外します。

**■注意！**
HDD/SSDを取り付ける際には、必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り付けを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

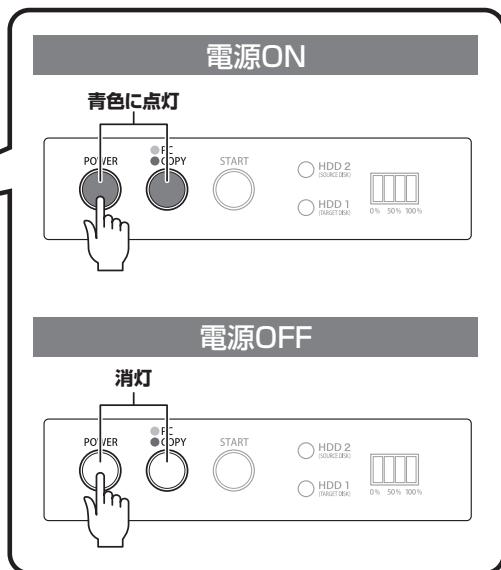
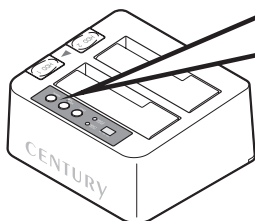
# 【PCとの接続方法】

本製品をコンセント電源とお使いのPCに接続すれば、使用の準備は完了です。

**※図はイメージです。また、eSATAケーブルはきつく曲げないようにしてご使用ください。**

### ●eSATAポートマルチプライヤーとは

eSATAポートマルチプライヤーは、SATA規格のひとつです。
従来SATAはホストとデバイスを1対1でつなぐことしかできませんでしたが、ポートマルチプライヤー機能を使用すると、1本のeSATAケーブルで最大5台までのeSATA機器を認識させることができます。
また、ホスト側がポートマルチプライヤーに対応していない場合、デバイス側がポートマルチプライヤー対応で複数のHDDを搭載したとしてもHDDは1台しか認識されません。

## 【電源の投入方法】

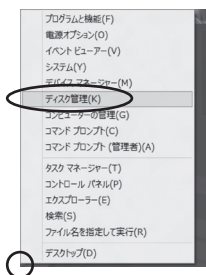
電源スイッチはいちど押すと電源がONになり、電源ONの状態でもういちど押すと電源がOFFになります。

# 【領域の確保とフォーマット】

本項ではPCと接続して外付けHDDとして使用するために必要な作業を説明します。本製品単体でのディスクコピー機能（P.29）を使用する場合、本作業は必要ありません。

・本項ではHDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

・本項の手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

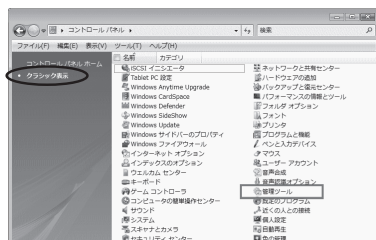
## ■Windows 8／Windows 7／Windows Vistaの場合

**1.**

### □Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。
その後は手順.3にお進みください。

### □Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

### □Windows Vista

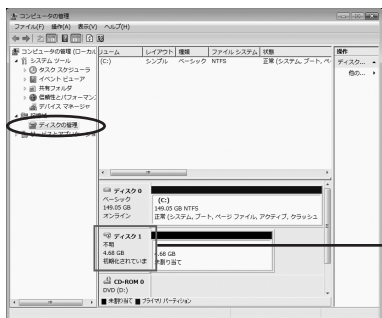
【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

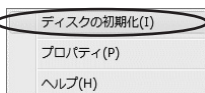
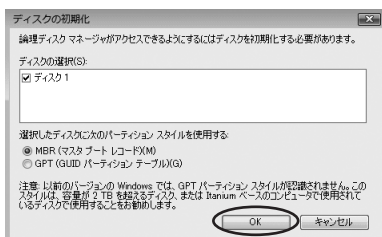
※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

**2.**

【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウインドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。
続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

**3.**

【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

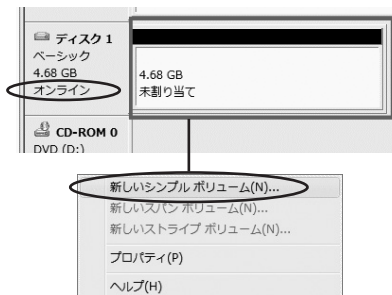
**4.**

【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。

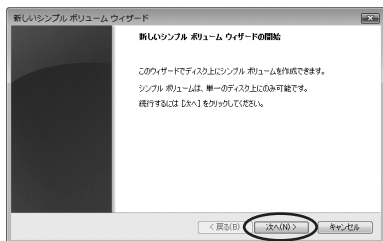
※パーティションスタイルについて
2TB以上の容量を扱う場合はGPT形式をお勧めします。MBR形式の場合、1パーティションサイズの上限が2TBとなってしまいます。
GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。
GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

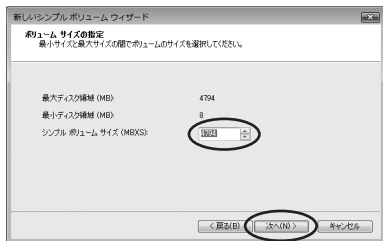
# 【領域の確保とフォーマット】

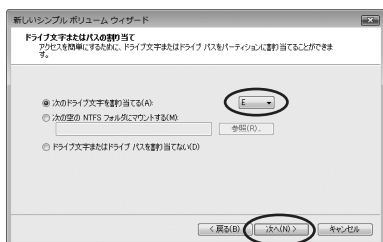
**5.**

ディスク 1
ベーシック
4.68 GB
オンライン
4.68 GB
未割り当て
CD-ROM 0
DVD (D:)
新しいシンプル ボリューム(N)...
新しいスパン ボリューム(N)...
新しいストライプ ボリューム(N)...
プロパティ(P)
ヘルプ(H)

【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

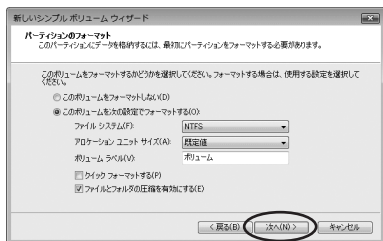
**6.**

【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。
設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

**7.**

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。
MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。
特に指定しなければ最大容量で設定されます。
設定したら【次へ】をクリックします。

**8.**

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

# 【領域の確保とフォーマット】

**9.**

【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

・ファイルシステム
NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

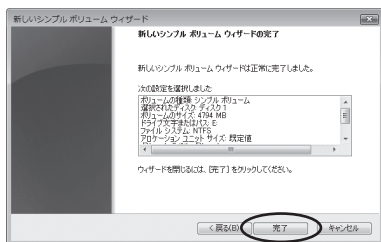
・アロケーションユニットサイズ
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

・ボリュームラベル
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

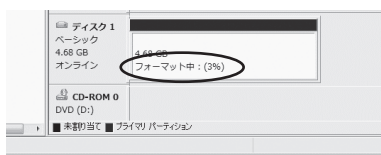
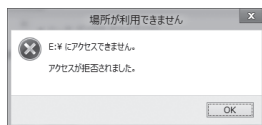
・クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

**10.**

【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

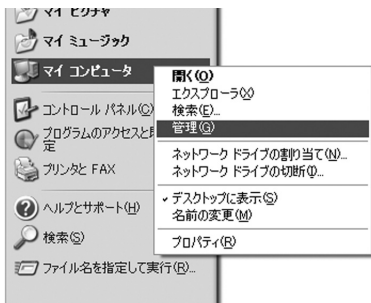
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

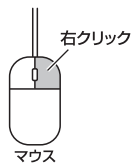
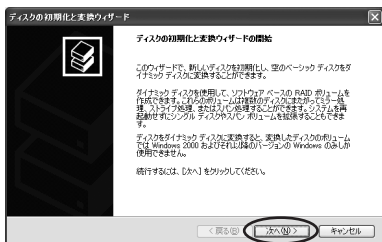
**11.**

これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PCや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

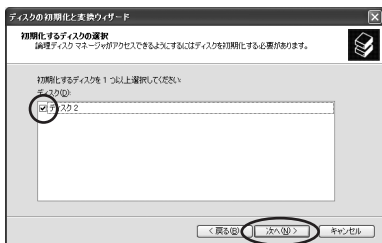
# 【領域の確保とフォーマット】

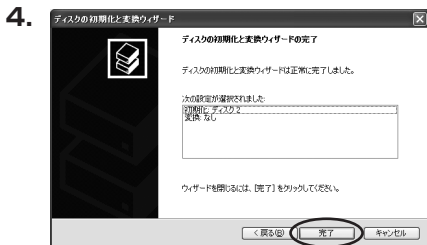
## ■Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

1.

スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウインドウが開きます。

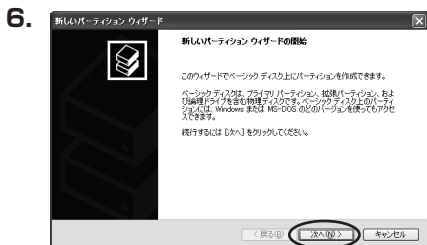
2.

「コンピュータの管理」ウインドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

3.

「署名するディスクの選択」ウインドウが表示されます。
署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

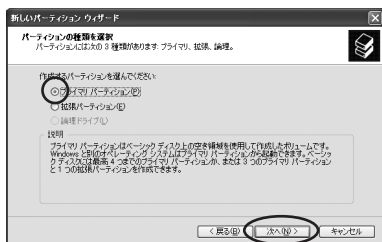
**4.**

「ディスクのアップグレードと署名ウイザード完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウインドウを閉じます。

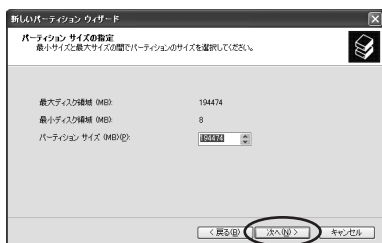
**5.**

次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成（P)..」を選択します。

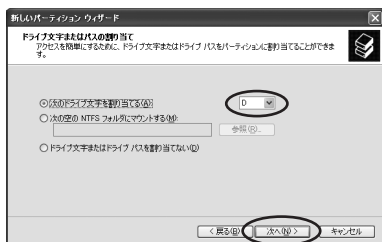
**6.**

「パーティション作成ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

# 【領域の確保とフォーマット】

**7.**

「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。
「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

**8.**

「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

**※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウイザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。**

**9.**

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

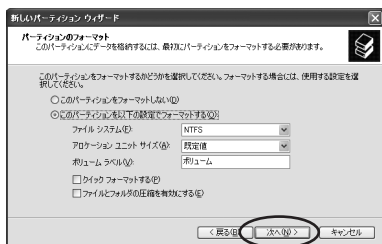
**10.**

新しいパーティション ウィザード

**パーティションのフォーマット**
このパーティションにデータを格納するには、最初にパーティションをフォーマットする必要があります。

このパーティションをフォーマットするかどうかを選択してください。フォーマットする場合には、使用する設定を選択してください。

○このパーティションをフォーマットしない(D)
◎このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O):
ファイル システム(F): NTFS
アロケーション ユニット サイズ(A): 既定値
ボリューム ラベル(V): ボリューム
□クイック フォーマットする(P)
□ファイルとフォルダの圧縮を有効にする(E)

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

「パーティションのフォーマット」ウインドウが表示されます。
このウインドウでフォーマット設定をすることができます。

**※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。**

・**使用するファイルシステム**
NTFSとFAT32が選択可能です。

・**アロケーションユニットサイズ**
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

・**ボリュームラベル**
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

・**クイックフォーマットする**
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・**ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

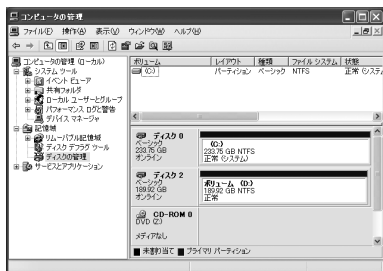
すべて設定して「次へ」をクリックします。

# 【領域の確保とフォーマット】



**11.**

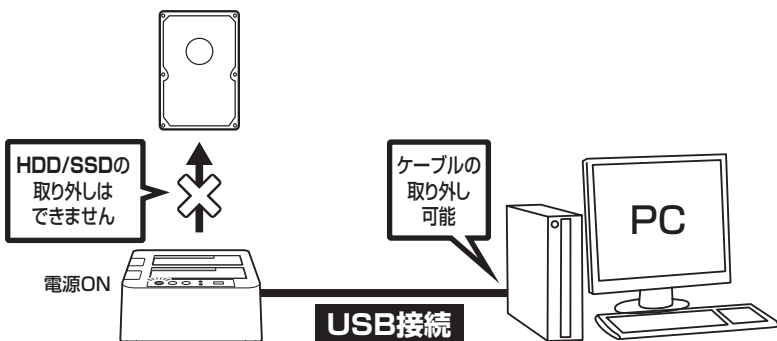
「パーティション作成ウイザードの完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

**12.**

フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

・フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
・フォーマット中は、PCや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。
故障の原因となります。

# 【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中のハードウェアの取り外しが可能です。
※eSATA接続の場合、Windowsをシャットダウンしてからe SATAケーブルを取り外してください。

※この項で説明するハードウェアの取り外しとは、本製品とPCの接続を解除するという意味で、本製品に接続されているHDD/SSDそのものを取り外せるという意味ではありませんので、ご注意ください。

1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。
取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。

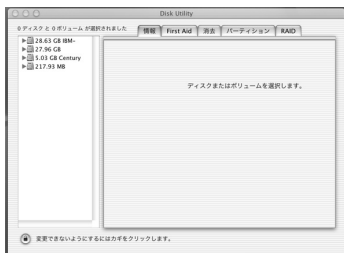
- **Windows XP　：「USB大容量記憶装置デバイス」**
- **Windows Vista　：「USB大容量記憶装置」**
- **Windows 8/7　：「USB大容量記憶装置」**

2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

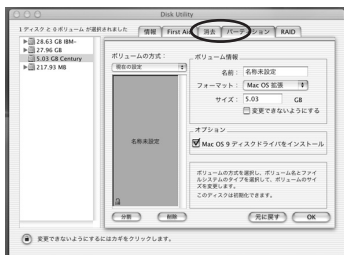
# 【Macでの使用方法】

Mac OS Xでのフォーマットは OS標準の「Disk Utility」を使用します。
※あらかじめMacフォーマットを行ったHDDはそのまま使用可能です。

**1.**

「Disk Utility」を起動します。
※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
本製品は、
**「xxGB（HDD容量）Century」**
と表示されます。
これをクリックして選択します。

**2.**

接続されているディスクの情報が表示されます。

**3.**

上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

・**ボリュームの方式**
作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。

・**ボリューム**
メディアの分割状況が表示されます。

・**ボリューム情報**
ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

・**名前**
作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

・フォーマット
作成するボリュームのフォーマットを選択します。「Mac OS標準」「Mac OS拡張」「UNIXファイルシステム」「空き領域」が選択できます。通常は「Mac OS拡張」を選択してください。

・サイズ
作成するボリュームのサイズを変更できます。

・オプション
「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMac OS 9で動作するドライバをインストールします。

・分割
選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

・削除
選択されているボリュームを削除します。

・元に戻す
直前の変更を元に戻します。

---

**4.**

すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

---

**5.**

パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

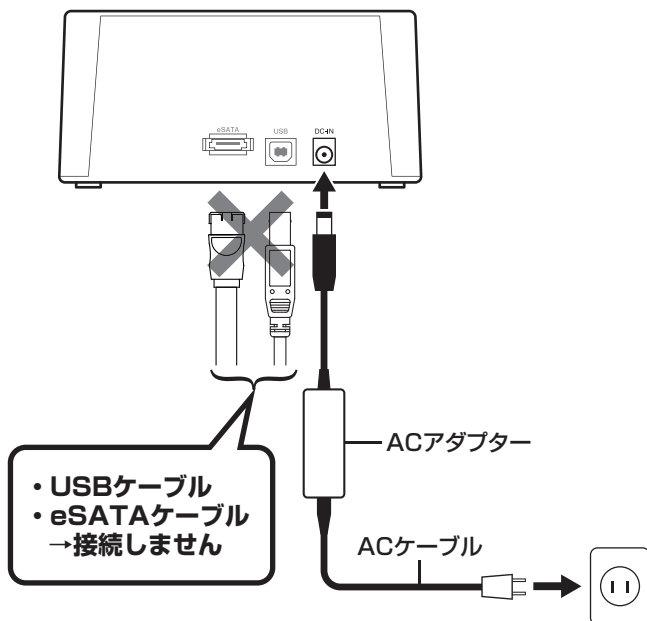
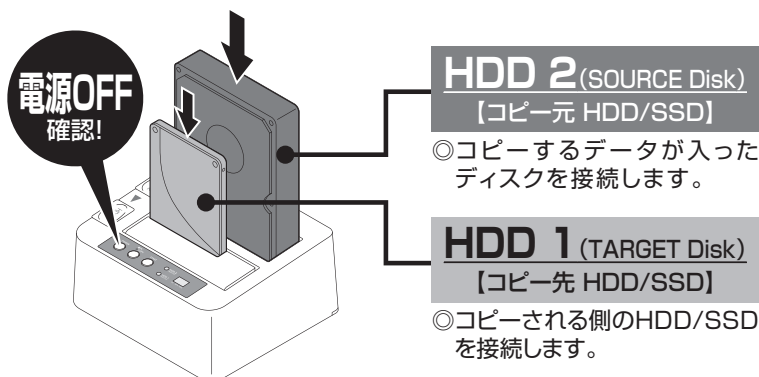
## 【ディスクコピー機能】

本製品はPCと接続せず、単体でディスクのコピーができる機能が搭載されています。セクタ単位のコピーなので、内容を問わずディスクを丸ごとバックアップすることが可能です。
また、ファイルシステムも含めてコピーされるので、コピー先のディスクをフォーマットする必要もありません。

### ⚠注意

**〜ディスクコピーをご使用の前に〜**
ディスクコピーを行う際、ディスクの接続場所や操作を誤ると、大事なデータがすべて消失してしまうおそれがありますので、必ず本取扱説明書の手順にしたがって、操作を行ってください。
また、このようなディスクはコピーの読み込み、書き込み双方に使用できません。
・不良ブロック/セクタのあるHDD/SSD
・認識しないHDD/SSD
・その他、動作の不安定なHDD/SSD

### ■ディスクコピーの手順

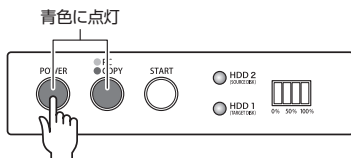
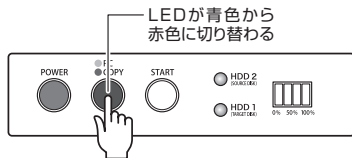
**1.** 本製品とACアダプター、ACケーブルを接続します。
USBケーブル、またはeSATAケーブルがPCと接続されている場合は取り外してください。

**2.** 電源がOFFになっていることを確認し、HDD2（SOURCE DISK）スロットにコピー元のHDD/SSDを接続し、HDD1（TARGET DISK）スロットにコピー先のHDD/SSDを接続します。

〈コピー元からコピー先へのデータの流れ〉

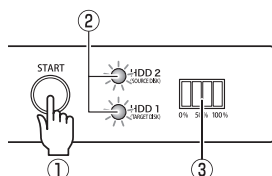
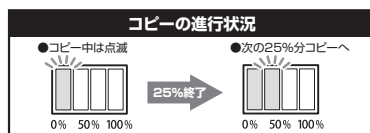
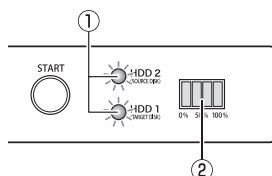
## ⚠注意

HDD/SSDを接続するスロットにご注意ください。コピー元とコピー先を間違えてコピーを開始すると、**コピー元のHDD/SSDの内容がすべて消失してしまいます。**
また、コピー先のHDD/SSDは必ずコピー元のHDD/SSDと同容量または大きい容量のものを接続してください。コピー元より容量が小さい場合、コピーが開始されません。
コピー元と同容量であっても、メーカーが異なる場合、容量に誤差がありコピーができない場合がありますので、同容量でコピーする場合は同メーカー・同型番のものをご使用ください。

# 【ディスクコピー機能】

**3.** 電源ボタンを押して電源をONにします（①）。
HDDの回転が安定してからPC/COPYボタンを約3秒長押しすると、LEDが青色から赤色に切り替わります（②）。これでコピーの準備は完了です。

## ①電源ON

## ②約3秒長押し

**4.** STARTボタンを押すと、ディスクコピーが開始します。
HDD1/HDD2のアクセスLEDがピンク色に点灯し、コピー進行インジケーターLEDの左のLEDが青色に点滅します。
コピーが25%進行するとごとに左のLEDから点滅→点灯に変わります。
コピー進行インジケーターLEDがすべて点灯し、HDDアクセスLEDがピンク色から青色の点灯にかわるとコピー完了です。
※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら、電源をOFFにしてください。

## ●コピー開始時

①STARTボタンを押す
②HDD/SSDアクセスLEDがピンク色に点灯
③コピー進行インジケーターLEDが点滅

## ●コピー終了時

①コピー完了時、HDD/SSDアクセスLEDがピンク色から青色点灯へ
②コピー進行インジケーターLEDが全点灯

※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら電源をOFFにしてください。

## ⚠注意

コピー中に電源をOFFにしないでください。HDD/SSDの内容が破損するおそれがあります。

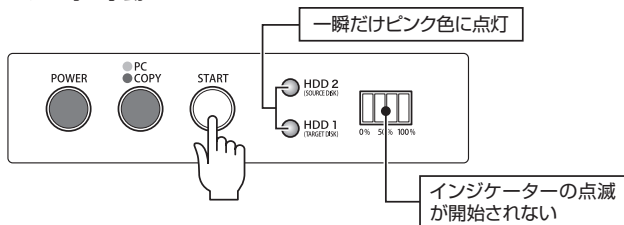
◎コピーにかかる時間はHDD/SSDにより異なります。
～参考～
弊社テスト環境にて500GB HDDのコピーが約150分（平均転送速度：約55MB/sec）

# 【ディスクコピーモード時のトラブルシューティング】

コピーが開始されない、またはコピーが途中で止まってしまう場合は次のような原因が考えられます。

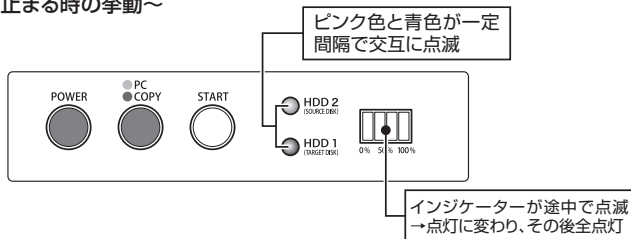
### ■コピーが開始されない

どちらかのディスクに異常がある、またはコピー先のディスク容量がコピー元のディスク容量より少ない場合、コピーは開始されません。異常のあるディスクを交換するか、コピー先をディスク容量の大きい物に交換してください。

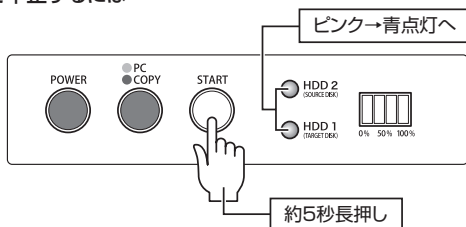
～コピーが開始されない時の挙動～

### ■コピーが途中で止まる

コピー元かコピー先に不良セクタがあると、コピーが途中で止まります。この場合、本製品の電源をOFFにして、ディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

※本製品のディスクコピー機能はディスク双方に不良セクタ、不良ブロックがある場合、コピーできません。
　あらかじめご了承ください。

～コピーが途中で止まる時の挙動～

## ■コピーを途中で中止するには？

コピーを途中で中止したい場合、STARTボタンを約５秒長押しすると、コピーが中止されます。再度コピーを開始しても中止した所から再開されず、先頭からのコピーになりますので、やむを得ない事情がない限りコピーを中止しないでください。

～コピーを途中で中止するには～

# 【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。
「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

## ■認識されない

→以下をお試しください。

- ・HDD/SSDが正常に差し込まれているか確認する。
- ・接続ケーブル、ACケーブルを確認する。
- ・電源ボタンのLED、HDDアクセスLEDが点灯しているか確認する。
- ・PCモード/コピーモード切り替えボタンのLEDが青色（PCモード）に点灯しているか確認する。
- ・USBホスト、eSATAホストが正常に動作しているか確認する。

## ■電源ランプが点灯してもHDDが回転している音がしない

→配線が正しく接続されているかご確認ください。また、付属されたもの以外のケーブルを使用されますと、故障や事故の原因となります。必ず付属のケーブルをご使用ください。

## ■スリープ、スタンバイから復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイに対応しておりません。
スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

## ■転送速度が遅い

→USB1.1ホストに接続した場合は12Mbps（理論値）となるため、高速な転送は行えません。
あらかじめご了承ください。

## ■コピーモードでコピーができない

→P.33【ディスクコピーモード時のトラブルシューティング】をご参照ください。

## ■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows）、デスクトップ（Mac）にHDDのアイコンが表示されない

→新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- ・Windowsでお使いの場合→P.13【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- ・Macでお使いの場合→P.27【Macでの使用方法】をご確認ください。

### ■eSATA接続時、HDDが1台しか認識されない
→ご使用のeSATAインターフェイスがポートマルチプライヤーに対応していない場合、1台しか認識されない場合がございます。ご使用のeSATAポートのメーカーにお問い合わせください。

### ■eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない
→eSATAのホストアダプターの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプターの仕様をご確認ください。
また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。
この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。
※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

### ■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない（Windows）
→ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。
USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

### ■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない
→eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうかが異なります。
詳しくはお使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。
また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしておりません。

### ■2TBを超えるRAIDボリュームを初期化しようとすると2TBで分割されてしまう（Windows 8／Windows 7／Windows Vista）
→MBR形式の場合、1パーティションの上限が2TBまでとなります。
GPT形式にて初期化することで2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

# 【トラブルシューティング】

## ■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

**・1MB = 1,000,000バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

**・1KB = 1024 バイト**

**・1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

**・1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

**・1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

**・2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約 1.8TB**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が（ハードディスクドライブメーカーでは）一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

## 【FAQ】

**Q：使用できるHDDの最大容量は？**

A：本製品をPCに接続して使用する場合、最大で4TB（テラバイト）までとなります。

**Q：カードリーダーのようにHDD/SSDを抜き差しして使うことは可能ですか？**

A：残念ながらできません。本製品はHDDアダプターですので、電源を切った上で抜き差しをする必要があります。電源を入れた状態でHDDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDDを故障させる可能性があります。

**Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？**

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

**Q：着脱可能回数は何回ですか？**

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10000回となっております。
HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

**Q：HDDにアクセスしていないのに、パワー/アクセスLEDが点滅します。故障ですか？**

A：ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

**Q：30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません（Windows）。故障ですか？**

A：HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。
詳しくは、P.13【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

**Q：OSの起動は可能ですか？**

A：eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。
ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。
※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

**Q：S.M.A.R.T情報が表示されない**

A：S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

## 【コピーモード時のFAQ】

**Q：異なる容量のHDDでもコピー可能ですか？**

A：可能です。異なる容量でコピーする場合、必ずコピー先HDDの容量がコピー元HDDの容量よりも大きな物でなければなりません。

**Q：異なる容量のHDDにコピーした場合、余った容量はどうなりますか？**

A：コピーモードはHDDのパーティションをそのままコピーします。500GB HDDから1TB HDDへコピーした場合、500GBはそのままコピーが行われ、残り500GB分が空き容量となります。

空き容量が利用可能かどうかはコピーしたOSによって異なります。

・Windows 8/7/Vista/XPの場合

→ディスクの管理で余った容量に対して追加でパーティションを作成、利用可能です。

※Windows環境ではパーティションを編集するソフトウェアが販売されております。
そういったソフトウェアを利用することで、空き領域を利用することが可能な場合もございます。

・Macの場合

→残念ながら利用する方法はございません。

**Q：異なる回転数、モデルのHDDでもコピー可能ですか？**

A：可能です。

**Q：Linux等のサポート外OSで使用しているHDDでもコピー可能ですか？**

A：コピーモードはセクタ単位のコピーを行うため、HDD内のファイルシステムやデータフォーマットを判別しておりません。そのため、コピーモードでHDDのクローンを作ることは可能です。

まったく同じ容量、メーカー、銘柄のHDDであればそのまま起動も可能ですが、容量が異なるHDDにコピーした際のOSの扱いがどのようになるかは未検証ですので、お客様の責任において行っていただきますようお願いします。

**Q：不良セクタのあるHDDでもコピー可能ですか？**

A：残念ながらコピーできません。読み込みないし書き込みエラーが発生した現在で、エラーとなってコピーが停止します。セクタスキップ等は行いません。

**Q：メーカーAの40GB HDDからメーカーBの40GB HDDへコピーができないのですが？**

A：同じ40GB HDDでもメーカによって細かい容量が異なります。コピーモードでは1バイトでもコピー元が大きな容量ですとコピーができません。

また、同じ型番のHDDでもロット差により細かい容量の差がある場合がありますのでご注意ください。

**Q：SCSIのHDDをコピー可能ですか？**
A：対応しておりません。

**Q：PC内蔵HDDをUSB接続状態でコピー可能ですか？**
A：PCに内蔵したままではコピーモードを使用することはできません。
コピーモードを使用する場合、必ずHDDをコンピュータから取り出して直接CROSEU2CPに接続しなければなりません。

**Q：コピー元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをコピー元よりも小さなHDDにコピーできますか？**
A：残念ながらできません。使用していない領域もコピーを行いますので、必ずコピー先HDDはコピー元HDDよりも大きな容量でなければなりません。

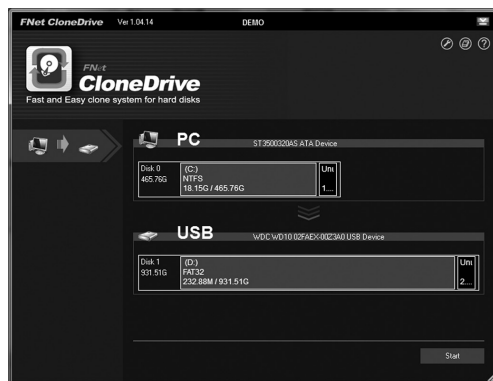
**Q：コピーにかかる時間はどのくらいですか？**
A：コピーを行うHDDによっても異なりますが、約2GB～3GB/分のコピーが可能です。

**Q：コピーする前にコピー先HDDをフォーマットしておく必要はありますか？**
A：必要ありません。コピー元HDDのファイルシステム、フォーマットで上書きされますので、コピー先HDDの内容はどのようなフォーマットを行ってあっても消去されます。

**Q：コピー元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをコピー元よりも小さなHDDにコピーできますか？**
A：残念ながらできません。使用していない領域もコピーを行いますので、必ずコピー先HDDはコピー元HDDよりも大きな容量でなければなりません。

# 【付録】

## ～システムクローンソフト「Clone Drive」ダウンロードのご案内～

本製品の購入特典として、システムクローンソフト「Clone Drive」がダウンロードできます。

## 【Clone Drive のご紹介】

■USB外付けHDDにシステムクローンが作成可能。
■イメージバックアップと異なり、元ディスクとクローンを作成したディスクを入れ替えることでOS起動が可能。

## 【対応OS】

・Windows 8（32bit/64bit）
・Windows 7（32bit/64bit）
・Windows Vista（32bit/64bit）
・Windows XP（32bit）

※Mac OSには対応しておりません。

## ⚠注意

**～本ソフトウェアご使用の前に～**

**本ソフトウェアはCROS2EU2CP以外の同一コントローラ（Jmicron製JMB352U）を搭載している他社製品でも使用できる場合があります※。**
**このため、本製品の使用方法等につきまして弊社では一切サポートをすることができません。**
**本注意事項をご了承の上、ダウンロード、ご使用をお願いいたします。**

※JMB352Uを搭載していても、ファームウェアのリビジョン等によっては使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。

## 【インストール方法】

ソフトウェアのインストール方法、簡単な使用方法については下記ダウンロードURLのページ内に記載してあります。

## 【ダウンロードURL】

**http://www.century.co.jp/support/download/clonedrive/**

**ソフトウェアインストール時のシリアルナンバーについて**

本ソフトウェアはインストール時にシリアルナンバーを入力する必要があります。
シリアルナンバーは本取扱説明書「保証書」項の下部に記載されています。
**※注意：シリアルナンバーの再発行はいかなる理由でも行いませんので紛失しないよう保管してください。**

## ― ご注意 ―

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。


※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■サポートセンター
〒277-0872　千葉県柏市十余二翁原240-9
TEL 04-7142-7533（平日 午前10時～午後5時まで）FAX 04-7142-7525
http：//www.century.co.jp/　e-mail：support@century.co.jp
【お願い】修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

## 弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください

この度はセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
今後の商品開発等の参考にさせていただきたいと思いますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
下記e-メールアドレス、またはURLにて受け付けております。どうぞよろしくお願いいたします。

【Mail】call@century.co.jp
【web】http://www.century.co.jp/call.html